「季節の花 300」
http://www.hana300.comより
（写真・説明文引用）

黄梅
（おうばい）
花言葉…控えめな美、期待、恩恵など

開花時期は、1／10 ～　3／20頃。中国原産。江戸時代初期の頃に渡来。春先に鮮やかな黄色の花が咲く。昔から鉢植えや盆栽などに利用されている。一重と八重のものがある。黄色い花が梅に似ていることと咲く時期が同じことからこの名前になったが、本来、梅とは関係なく、ジャスミンの仲間。

花のお便り

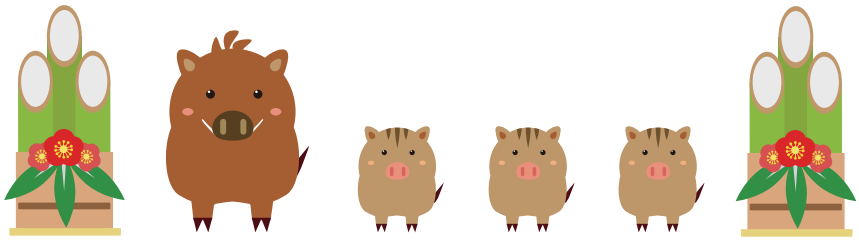
2019.1　No.151

E-mail : info@miyazaki-p.co.jp
http : //www.miyazaki-p.co.jp/
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2
TEL. 03-5384-1331・FAX. 03-3305-2528

先日ラジオを聞いていたら、今年の流行語に物申すとして、若者の意見を発表していた。それは「平成最後の年」じゃないのとの意見。うーん「そだね」と妙に納得してしまった。だがちょっと冷静になると、平成最後の年と力説する若者に「ボーット生きてんじゃねーよ」と、一言いいたくなった。どうせなら、面倒な元号などなくし西暦にすれば、くらい言ったら、などといいながら一句。　　―ワンと鳴き亥を目覚ますや宝船―

明けましておめでとうございます。

昨年は多大なご愛顧をいただき、お礼申し上げます。本年も尚一層のお引立のほど、よろしくお願い申し上げます。昨年末の株価の急落に見られるように、米大統領の動向でヨーロッパも含め、世界的に不安定な情勢が続いています。日本ではいざなぎ景気を超えたとの報道もあるが、一部の業種を除き小企業は、その波の余波も来ません。そんな時だからこそ、各企業が努力し技術の向上をはかり、信頼関係を一層強くすることが必要と思います。さて、今年は猪（亥）歳ですが、猪の速さを実感した出来事があります。今から16年前、奥多摩の沢で妻と山女魚釣りをしていた時のことです。ふと沢の向こう岸に目を向けると、イノシシと目が合ってしまいました。突然後方10mにいた妻に向かって沢を横切り加速。「イノシシ！」の声に妻はその場で腰を抜かし、その脇を猛然と駆け抜けるイノシシ。ちなみに時速45kmで走り、前進も方向転換もできるようです。イノシシは「無病息災」の象徴とも言われ、辛抱強く何事もやり遂げる意思があります。今年一年、イノシシに見習い、共に精進いたしましょう。



気まぐれエッセイ　クライミング再開しました

20歳で始めた岩登り（当時はクライミングの言葉はあったが、使っていなかった）は、39歳で終えたつもりでいた。その後、岩魚釣りで滝を登ることは度々行ってきた。室内のクライミングウオールも、2～3回ほどチャレンジした。そんな行為の底には、過去に谷川岳で、雨で2回も敗退した、岩場への憧れがいつまでも心の隅でくすぶっていた証でもあった。その時のザイルパートナーと「65歳になったら登ろう」との約束もあったが、それも叶わなくなっていた。すでに70歳半ばで、どれだけ出来るかと、昔の山岳会の後輩に頼みゲレンデを登ってみた。すると自分の感覚では「アレ、いけるかな」などと、不遜な気持ちが芽生えてきた。早速HPで70歳でもクライミングの出来る山岳会を検索すると、ありました。12月の15日・16日、冬でも温かい湯河原の幕山公園の岩場へ忘年山行に参加した。それはこれまで経験したことのない、異次元の難しい岩場だった。何となく分かってはいたが、用具から攀り方まで、以前とはまったく似て非なるものだったが、そんなことにはめげず、先生の指導の良さもあり、少しは目の前に道が開けた思いだった。